

渡島総合振興局東部森林室との連携による 森林環境教育(森林づくり塾)の開催について

駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター 上席自然再生指導官 樋口 悟一
自然再生指導官 堀川 栄樹
渡島総合振興局 東部森林室 主幹 佐藤 洋

研究の背景・目的

森林環境教育について、北海道森林管理局 駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センターの森林づくり塾、渡島総合振興局 東部森林室の森への誘い講座は、それぞれで開催してきましたが、平成26年5月の北海道森林管理局と北海道の間で締結された覚書に基づき、重複メニューの統合や共催、フィールドの共有などを目的に推進することとして話し合い、平成26年度から、東部森林室の森への誘い講座への塾生の参加、当センターの森林づくり塾への講座生の参加できるメニューで対応することとしました。今回、2年間の実施状況を報告するとともに、今後の連携のあり方を考察します。

研究の内容・成果

・平成26年度は、森への誘い講座の「横津岳登山」の1回、森林づくり塾の「海岸林施設の視察」、「五稜郭保安林の草刈」、「軍川国有林での間伐体験」、「恵山の高山植生観察」の4回を連携で実施しました。



横津岳登山



海岸林施設の視察



保安林の草刈



間伐体験



高山植生観察

・平成27年度は、森への誘い講座の「森林散策・植樹・枝打ち」、「下刈作業」、「横津岳登山」の3回と、森林づくり塾の「軍川国有林での間伐体験」、「土橋自然観察教育林観察会」、「駒ヶ岳治山工事視察」の3回を連携で実施しました。



森林散策・植樹・枝打ち



下刈作業



横津岳登山



台風被害跡地視察



自然観察教育林視察



治山工事視察

・平成26年度、平成27年度の参加者名簿から応募される方の年齢構成や性別は、ほぼ例年どおりで変化はありませんでした。

・アンケートで平成27年度から参加できるメニューに参加できない理由については、開催日の違い（土日、平日）や行事の重なりや業務の都合との理由から参加されていない状況です。

・担当者からは、開催するに当たっての連携メニューへの随行等の負担が増えるなどの声も聞かれます。

今後の展開

・今後も連携企画を継続して実施するなかで、開催日の調整や参加メニューではなく必須メニューとして回数を調整し、担当者の負担を軽減するなど問題点の解消に向け、また、参加者にとってもよりよい連携メニューとなるよう検討していきます。